

令和8年度大学・高専機能強化支援事業
（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）「成長分野転換枠」＜継続分＞
申請書

令和8年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	麻布大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	神奈川
大学全体の総収容定員	2,200 名 ※令和7年5月1日時点		
学部学科 組織構成	獣医学部（獣医学科、獣医保健看護学科、動物応用科学科）、生命・環境科学部（臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科）		
事業計画名	麻布大学（仮称）食・環境共創学科設置計画		

2. 事業概要

脱炭素（カーボンニュートラル）社会や自然再興（ネイチャーポジティブ）の達成、フードテック領域の拡大、少子化における知の総和の向上など、持続可能な地域社会の構築という社会的な要請に応え、人と環境の持続可能で健やかな未来を実現するため、本学の教育理念「地球共生系～人と動物と環境の共生を目指して～」に基づき、人の健康や健全な環境を統合的にアプローチするという概念の下、入学定員100人（収容定員400人）とする（仮称）食・環境共創学科を開設する。特色としては、基礎自治体や民間企業など学外機関との連携を通じたPBL型学修の充実により、建学の精神である「学理の討究と誠実なる実践」を体現する実学教育を展開することで、人の健康に不可欠な「食」と、健全な循環型社会の実現の基盤となる「環境」を統合的に捉え、食の安全・機能及び食品開発、環境の評価・保全に関する科学的知識とデータサイエンスを用いた実践的技能を修得し、全体を俯瞰しながら、それらを地域社会における課題解決へと結び付けることのできる「食・環境地域共創ジェネラリスト」を育成する。
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和11年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	（仮称）統合健康科学部（仮称）食・環境共創学科					
設置等組織の学位分野	農学関係	保健衛生学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	神奈川県相模原市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	100 名					
他学部等の入学定員の減少数	100 名					

事業計画名 麻布大学(仮称)食・環境共創学科設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和11(2029)年度	設置等組織名	(仮称)統合健康科学部(仮称)食・環境共創学科	入学定員増数(合計数)	100人
所在地	神奈川県相模原市	改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）	入学定員減数(合計数)	100人

＜社会や地域のニーズ・課題＞

- 脱炭素(カーボンニュートラル)社会や自然再興(ネイチャーポジティブ)など、**人と自然が共生する健やかで持続可能な社会の実現**
- AIやDXを活用した農業・環境・食**を中心とする産業創生と構造改革
- 産官学連携によるデータサイエンスを基盤とした**持続的地域社会の構築**

＜設置学部等の概要・コンセプト・特徴など＞

- 農林水産業の人材不足、獣害の深刻化、地域資源の未活用などの課題を**データサイエンス**で解決し、**人と環境の持続可能で健やかな未来**を実現
- 地域の一次産業従事者との連携による食品開発や農作物被害等の獣害対策に係る野生動物との共生又は資源活用など、「地域共創」に向け、食と環境に関する幅広い知識や技能を備え、持続可能な人と環境の共生を実現するためデータサイエンスを基盤とした課題解決能力を有する実践的・創造的な人材を育成**
- 知識の修得のみならず、基礎自治体や民間企業といった学外機関との連携、実務家教員の招へいによる**PBL型学修**など、建学の精神である「学理の討究と誠実なる実践」を体現する**実学教育の展開**

＜教育内容・育成する人材像＞

○教育内容

食の安全・機能・開発、環境衛生・アセスメントをはじめ、**食・環境に関するデータサイエンスに基づいた基礎的・専門的な知識技能の修得**のほか、基礎自治体や民間企業など学外機関との連携を通じた**PBL型学修機会**の充実

○育成する人材像

人の健康に不可欠な「食」と、健全な循環型社会の実現の基盤となる「環境」を統合的に捉え、食の安全・機能を踏まえた食品開発、環境の評価・保全に関する科学的知識とデータサイエンスを含めた実践的スキルを修得し、それらを地域社会における課題解決へと結び付けることのできる「食・環境地域共創ジェネラリスト」

＜連携を通じた教育体制の整備＞

- 食・環境共創学科設置に向けた**産官学連携協議会**の設置
- 実社会でのデータ取得、解析を用いた解決能力**の育成
- 既存学科で連携している基礎自治体、民間企業等との更なる連携強化を図り、**実務家教員の招へいによるPBL型学修機会の充実化**

＜多様な入学者の確保＞

- 志願者の様々な需要に合わせたオープンキャンパス等の開催による**接触強化**
- 高大接続プログラム**「いのちと共生の研究プログラム」による入学者の確保
- 意欲とコンピテンシーを重点的に評価**する選抜の実施

